

終着駅は、始発駅

- 「上海 - > 北京」の列車の終着駅は、北京である。この列車は、次には北京から上海に向けて出発する。この列車には終わりではなく、終着駅であった北京は、始発駅となる。
- 内蒙古内にある「満州里」の都市は、ロシアとの国境にあり、中国鉄道の終着駅である。以前、斎藤は天津から31時間列車に乗って、夜の19時に終着駅のこの満州里に着いた。翌朝、ロシアとの国境の場所に行って、鉄格子の線越しに中国側からロシアを見た。それから朝の10時に満州里を出発した。昨夜の終着駅は始発駅になって、新たな旅へのスタートであった。夜に着いた哀愁の終着駅が、翌朝希望に満ちた始発駅になった。
- 駅だけではない、人生の色々なことにも、「終着駅は、始発駅」がいっぱいある。終わりのない新たなスタートを意味した言葉であり、これを活用したい。

終着駅は、始発駅

- * 仕事が終わる定年は、第二の人生の始まり。
どんな人生でも良い、これまでと違った人生を楽しむ。
- * 大学卒業は、社会人のスタート。新たな学習へのスタートであり、**生涯学習の始まり**。
- * ある目標を達成したら、**新たな高い目標への挑戦が始まる**。PDCAの回転である。
- * 失敗したら、成功への新たなチャレンジの始まり。失敗で終わっては駄目、成功へのバネである。
- * ある旅が終れば、新たな旅を考えて、別の楽しみが始まる。
- * ある恋が終ったら、新しい恋の始まり。
- * 独身生活の終わりは結婚生活の始まり。
自分勝手な考え方から思いやりの考え方への移りである。
- * 離婚は、再婚へのスタートと考えれば、その後の生活に希望が出て来る。
- * 夜が終ったら、新しい朝が来る。
- * **一年が終ったら、希望に満ちた新年が始まる**。
- * 厳しい冬が終れば、暖かい、きれいな花がいっぱいの春が始まる。
- * 苦しみが終れば、楽しいことが始まる。
- * 人生が終れば、つらいことも苦しみもない快適な眠りのスタートである。死を恐れないこと。

全てのことにに関して、終わりは終了ではなく、新たな始まりである

終わりはない、常に新たな希望を持って、生きること

終わりはない、常に継続、新しいことへのチャレンジのスタートである

課題 - 2 「終着駅は、始発駅」レポートのまとめ

1. 課題 - 2 資料の内容 :

- 「上海 - > 北京」の列車の終着駅は、北京である。この列車は、次には北京から上海に向けて出発する。この列車には終わりはなく、終着駅であった北京は、始発駅となる。
- 内蒙古内にある「満州里」の都市は、ロシアとの国境にあり、中国鉄道の終着駅である。以前、斎藤は天津から 31 時間列車に乗って、夜の 19 時に終着駅のこの満州里に着いた。翌朝、ロシアとの国境の場所に行って、鉄格子の線越しに中国側からロシアを見た。それから朝の 10 時に満州里を出発した。昨夜の終着駅は始発駅になって、新たな旅へのスタートであった。夜に着いた哀愁の終着駅が、翌朝希望に満ちた始発駅になった。
- 駅だけではない、人生の色々なことにも、「終着駅は、始発駅」がいっぱいある。終わりのない新たなスタートを意味した言葉であり、これを活用したい。

* 課題 : テーマ - 「終着駅は、始発駅」

- 添付の「終着駅は、始発駅」の内容を参考にして、下記の内容を含んだ文を、「論文形式」で書く。
 - * 「終着駅は、始発駅」の意味についての自分の考え。
 - * 自分で考えたこの言葉の意味から、今後の自分の人生、生活等について。
- 課題の目的 :
 - * 何事にも終わりがなく、常に継続して行くことを認識してもらいたい。
 - * 簡単な標語を、自分でも作って、日々の自己行動に活用する。
 - * 日本語の学習、練習。

2. レポートのまとめ :

* **提出** : **17 / 41 名 (41%)** - **毎回指摘してるが、低過ぎる。**

1) 提出レポートの紹介 :

- 大学卒業は、ある生活の終りである。そこからもう一つの生活が始まります。社会人になり、新たな学習へのスタートであり、生涯学習の始まりです。今、私達が学ぶのは、教科書のことですが、社会に入ったら、現実に向かわなければなりません。始めはちょっと不適應になるかも知れません。しかし、すぐ自分で調整しなければなりません。卒業後何をしますかと、最近私はよく考えます。仕事をしますか、勉強をし続けますか、出来れば私は日本に行くつもりです。大学院で勉強します。自分に適應する分野で勉強をし続けます。それから、自分の始発駅を探します。自分の未来のために一生懸命に頑張ります。
- 各人の人生には、色々な轉換期があります。これは古い事柄が終り、新しい人生の始まりです。今、私達は 3 年生として、1 年後の大学卒業は社会人のスタート、新たな学習へのスタートであり、生涯学習の始まり。以前は自分の人生は良くも悪くてもいいと思っていましたが、社会人になったら、これまでと違った人生を楽しむ。失敗したら成功への新たなチャレンジの始まりと考え、失敗で終っては駄目、成功へのバネとしたい。終着駅は、始発駅です。私達は自分の人生を把握し、全部の事情を放棄しないで、目標に向かって努力します。

- 大学卒業は社会人になり、新たな学習へのスタートであり、新たな高い目標への挑戦が始まる。いままでののんびりした生活に慣れてしまったせい、将来の仕事生活は未だ自信不足と思う。失敗したらどうしようと、いつもそう思ったが、きちんとした社会人になる為に、今から一生懸命勉強しなければならないと思っている。人生の内色々な事があるが、同じ新たなチャレンジもある。終わりは終了ではなく、新たな始まりである。では、皆さん、将来の夢の実現の為に、いっしょに頑張りましょう。
- 時間は時計の様に流転し続ける回転であり、人生は限りない終着駅と始発駅の繰り返しであると思う。人々はこの時点に立てば、多少困惑する場合もあるが、彼らは思考、努力、経験を通して、またそれだけの経歴を持って財を築くものと認識している。成功という終点は、新しい目標の始まりになり、年間の四季の様に、循環変化して行く。従って、失敗してもへこまない新たな起点としなければならない。成功しても自惚れないこと。これは次の困難の始まりかも知れないからである。何でも起点があれば成功出来ます。同様に終点も経験の基礎となり、この両点を共有してこそ、本当の成功を収めることが出来ます。
- もちろん、列車は始発駅から終着駅まで運転している。そういえば、それはちょっと微妙です。その理由は、逆に始発駅は終着駅になって、そして、終着駅は始発駅になっていると思います。それと同じ事柄がいっぱいあります、例えば：人間は子供から年寄りまでです。子供は始めて、年寄りで終ることです。そして、人が成長するにつれて、結婚した後自分の子供が出来ます。それは子供の始まりなのに、自分が終ることです。その理由は、今の三大家族で一番大切な地位は子供です。子供のために貯金をし、子供のために本を買う、子供のために一生懸命働きます。従って、子供の始めは、両親の終わりです。つまり、人として生活するにつれて、たくさんなことに遭遇すると思います。その遭遇の中で、「終着駅は始発駅」としてのものがあると思います。
- 人生は豊富だ。だから楽しいことと苦痛なこともある。しかし、この苦痛なことは楽しいことの始まりだと思えばよいし、失敗したら成功への新たなチャレンジの始まりで、失敗で終わっては駄目、成功へのバネと考えればよい。私はもうすぐ大学生の時期が終り、社会人のスタートである。今の時代はなつかしいけれど、新しい人生に期待し、色々な自分の人生を想像する。もし、私が中国の企業に入ったら、私は何をやるのだろうか。もし、私が日本の企業に入ったら、何をやるの？もし、私が自分で商売をするとしたら、どんな人生が私にあるの？その期待あるいは夢を抱いたら、私は何かを失うという感じが無い。従って、どんな時でも、終着駅は始発駅だという気持で、頑張っていきたい。
- 人生にはたくさんの道路がある。完全に正確な道路はありません。人には色々な選択があります。そこには色々な終着駅、色々な始発駅があります。大学生活は楽しく、大学生活の終わりは哀愁を感じるが、その感じは必要ありません。大学卒業は社会生活の始まりです。そして、社会生活は大社会で、大学生活は小社会です。大社会は色々な機会が多く、生活はより豊富です。学校から学ぶ様々な知識は社会人になるためのものですが、多くの知識を学校からは学べません。大学の終わりは、多くの豊富な知識を学べる社会生活の始まりです。私達は将来の生活を楽しくしたいもので、楽天的な人は困難のことがありません。中国古詩がある：山〇水尽疑無路、柳暗花明又一様。それは同じ意味、終着駅は始発駅。
- 一生における学習：人間にとって学習には終点がないと思います。いつからが始発駅かいつまでが終着駅かは、誰にもはっきりわかりません。始めと結果はあまり重要でないと思います。大切なことは、この過程です。小学校を卒業し中学に通うことが始まります。中学校を卒業したら高中に通うことが始

まります。高中を卒業したら大学に通うことが始まります。私は今三年生です。大学生活がすぐに終わります。大学卒業は社会人のスタートです。会社員になるとか、教師になるとか、何をしても全部が生涯学習の始まりです。もちろん、人生にとって、この過程は回転である。何事をして前向きに積極的に、楽観的にやってみれば、人生はもっと多彩になります。

- 今もう3年生になりました。すぐ大学を卒業します。大学の学業を終えることは、一つの新しい始めを意味します。すぐ歩いて社会に入らなければならなくて、参加して働きます。全て間もなく始まって段々変化が発生して、周囲の人々は学友から同僚の関係になります。この様になったら私の心の中はどうしても少し緊張して行きます。多少恐れて、自分が任に堪えにくいことを心配するため、自分がうまくすることが出来ないことが起きることも心配しています。

しかし、実は角度を変えて考えてみれば、そんなに悲観的にならなくなることも出来ます。これが一つの新しい始め、一つの起点です。全てゼロから自分で自分の潜在力を発揮する十分な空間があることを意味し、自分の優位のところを発揮すればいい訳です。私は何かをしたいかに関わらず、或いはどの様にしたいかが問題ではなく、私が思い切り試みてみればよいことです。これを思いついたら、あの様に心配して恐れていたのがなくなり、かえって心の中は、少し興奮して矢も楯もたまらなくなりました。

- 大学生活 : 未だ大学時、覚得大学是忙碌充实的、現在已經大三了、对大学有了? 一種感覺。這里不只是單純學習的地方也是我們進入社会前的一個實驗基地。我們学到的也不只是知識更多的是一種能力。在与大学同学同吃同住的過程中學了人際關係的處理、在公司實習學會了真正的工作經驗。總之每一時刻都在進行能力的累積、為了以後而努力。希望明天会更好

- ある哲學家の言葉に「 終りは新たな始まり 」があります。吾國の聖人孔子は「 行き去るは斯（ 海の水を指す ）の如き 」と言っている。孔子は高山に登った際に、何百数に達する川の水は、去る海に合流すると察し、しみじみと自分の去る人生を嘆き、それからふるって仕事に凝るということである。私は聖人ではなく、単なる凡人に過ぎないけれど、今まで既に 20 余りの春秋を過ごした。その内、自慢や喜びや悲しみ等に満ち溢れ、これと言って経験談はないとはいふものの、テーマを読んでから心に少しの反響を呼び起こした。長い間に関わる仕事では、成功を度重ねることで喜びを味わう時間は多過ぎるのを自覚しながら、それだけのタイムを新たな仕事に振り向けたら、もっと多くの仕事或いは目的が達成出来る。つまり、去る仕事が終わったら、そのプロセスを振り返り、全貌を真剣に目を通してから、隙間無く、再び力を絞って努めて行くべきである。失敗しても、屁理屈を言わない。いずれの失敗も今後の人生に位置付ければ、人生の分岐点となる可能性があるが、その事を人生の経歴と見なして、その後今後の人生をリセットして、へこまないで、続けて斬新な仕事振りで立ち向かうべきであると思う。

- 失敗したら、成功への新たなチャレンジの始まり。失敗で終っては駄目、成功へのバネである。「 失敗を恐れるな 」とよく言われる。私はそんな無責任なことは言えない。誰しも失敗などしたいはずがない。それを失敗したら、失敗し続けたらどうなるかを考えたら、恐ろしい結果になることがありありと浮かんだ。そんな恐ろしいことを招きかけない失敗について、「 恐れるな 」などととはとてもじゃないと言えない。本来の意味を理解せずに屁理屈をこねようというのではない。メモの書き損じのような程度のものから、仕事の失敗、友人関係の失敗、家族の失敗、果ては人生の失敗である。誰しも失敗はしたくないものだ。しかし、成功を望んで行動するうちに、その過程において失敗には数限りなく見舞われるのが世の常識である。一度失敗をしたら、しっかりと反省をし、工夫改善を施し、満身の勇気をもって新たな挑戦をしようと思う。同じ失敗を二度繰り返すのは恥である！ 同じ失敗は二度とやってはな

らないのだ。一度目の失敗でしっかりと反省し、教訓を得、再発の防止に努めなくてはならない。失敗しないように、工夫し、多角的に検討し、慎重に、ベストを尽す。失敗の怖さをしっかりと認識しつつも、勇気を持って新たなチャレンジを続けて行く。

- 序論 : 「上海 - > 北京」の列車の終着駅は、北京である。この列車は、次には北京から上海に向けて出発する。この列車には終わりはなく、終着駅であった北京は、始発駅となる。駅だけではない、人生の色々なことにも、「終着駅は、始発駅」がいっぱいある。

本論 : 私たちが生まれた時に、私たちの人生は始まった。この長い人生の中で、色々な段階がいっぱいある。これは旅行の途中のたくさんの駅で、一つの駅の終わりは次の駅の始まりで、旅行は一つ一つの駅によって連続することだ。人生も同じだ。自由自在に遊ぶ子供時代の終わりは学生時代の始まりだ。その時から、学生として規則を遵守して、知識を学ぶ始まりになる。現在は大学で勉強していて、大学卒業は社会人のスタートだ。だから、今の勉強は今後のための準備である。今もう日本語の2級に合格したがこれは終りではない。1級合格のための努力の始まりになる。試験だけでなく、生活で何事にもある目標を達成したら、新たな高い目標への挑戦が始まる。今後の人生には、困難を克服しても、これだけによって満足する気持を持ってはいけない。ということは、私たちはこの後各種の困難に直面するかも知れない。一つの困難を解決しても、また一つの困難が出来る。しかし、もちろんな人生は苦しみだけではない。苦しみが終われば、楽しいことが始まるからだ。だから、もし冬が好ましくなくても、大丈夫だ。厳しい冬が終われば、暖かい、きれいな花がいっぱいの春が始まる。

結論 : 世界の全てのことに関して、終わりはなく、継続、新しいことへのチャレンジのスタートである。だから、常に新たな希望を持って、快樂に生きて行きたい。

- 序論 : 列車は終着駅に到着した。しかし、終わりはなく。この終着駅は即刻始発駅になって、次の終着駅に向けて出発する。

本論 : 長い人生は疾駆する列車のようだ。人々はこの列車における色々な終着駅と始発駅を経ます。夜が終わったら新しい朝が来て、厳しい冬が終われば、暖かい、きれいな花がいっぱいの春が始まるようだ。あることが終わり、別のことが発生して、新しいスタートに到達します。今の生活の中には、このような終わりとスタートが存在します。正確な態度で終着駅と始発駅を認識することが必要だと思います。暇な冬休みが終わった日は新しい学期が始まる日です。終わりの哀愁にしばらくとどまるはずではない、元気が満ちている気持で新たな事物を迎えます。今まで、2年半の大学生活ももう過ぎた。1年半後、間もなく大学を卒業します。大学卒業は社会人のスタート、新たな学習へのスタートであり、生涯学習の始まりです。将来、大学生活が終わった時、何で悔やんでも悔やみきれないことがないために、今から残る1年半に、もっと一生懸命に日本語を勉強して、もっと多くの専門知識をよく知って、自分の定めを完成させなければならない。今、色々な経験を積んで、将来の仕事のために、基礎を固めます。

結論 : 苦しみが終われば、楽しいことが始まる。全てのことに関して、終わりは終了ではなく、新たな始まりである。終わりはなく、常に新たな希望を持って、生きること。

- 終点は、出発点だ :

序論 : 幸福に関して言えば、私は終点がないのは当然と考える。不断の努力によって真の幸福をつかみとる事が出来る。それはあたかも人の生命のようなものだ。一日を開始し、それぞれの一步を踏み出し、この絶え間ない歩みが人生、即ち生命である。

本論 : 生まれてから人は人生の旅路が始まり、即ち生命の正式な出発点である。そして、生命が終

わるまでの道には、誰でも色々な経験をするし、その中には無数の出発点が存在する。出発したら信念を持って、道中の困難を乗り越えて行く必要がある。いくら忙しくても停止しないで次に踏み出すことである。

結論 : 毎日目を覚ましてから眠るまで、予約した目標の達成に向けて努力して行く。そして、毎日目を覚まして、自分に一言言う、また美しい一日だねと ---- 。

- 終点は、出発点だ :

序論 : 幸福に関して言えば、私は終点がないのは当然と考える。不断の努力によって真の幸福をつかみとる事が出来る。それはあたかも人の生命のようなものだ。一日を開始し、それぞれの一步を踏み出し、この絶え間ない歩みが人生、即ち生命である。

本論 : 私は、人生に対してある認識を持っている。新しい起点において、何を追及しているのか？何を獲得しようとしているのか、即ち、その時点での目標は何かということである。友との離合も、一時の別れであり終わりではなく、また会えることの始まりである。この様なことは、人生において多いと思うが、常に将来の為に新たなスタートをすることである。

結論 : 1年に1回の春は日にち通りに来る。砂漠にも花が咲く時期が来る。ある時期の砂ぼこりも終わる時期が来る。人生にも苦しい時だけない、幸せな時期も必ずあるし来る。努力が必要である。

- 終着駅は、始発駅

序論 : 終点は以前の生活に終止符を打ち、起点は将来の生活を示しており、私達は奮闘し続けて行くことが当然である。終点は私達が次回再会すること切望し、起点は私達が感嘆して縁の始まりである。終点は以前の談に対する総括で、起点は事物への期待に対することである。

本論 : 秋の落ち葉を見ていると、生命の不思議を感じる。落ち葉はその葉の終わりであるが、葉が落ちた所から、また、新しい葉が生まれる。土に落ちた葉は、土の栄養となる。自然の営み、古い生命の後に新しい生命の誕生である。人間の生命、人生も同じかも知れない。

結論 : 生命のヶ所ヶ所に、起点と終点がある。

2) コメントとアドバイス :

- 提出されたレポートの内容は、全て素晴らしいものである。各人が、自分なりの「終着駅は、始発駅」の意味を理解し、自分なりの考え方を書いていたからである。そして、その内容は、各様であるので、これがよいのである。各人の観点の違いを、上記の文章から感じて下さい。
- 多くの学生は、人生との関係を書き、そして、今の大学生活や残り少ない大学での時間の使い方を考えている。これが、重要なのである。皆さん、頑張ってください。

継続は、力なり

常に新しいことへのチャレンジは、自己向上に結びつき、人生が楽しくなる

斎藤正のモットー : 人生を楽しく みんなに感謝 あなたに感謝

終着駅は、始発駅

- * 仕事が終わる定年は、第二の人生の始まり。
どんな人生でも良い、これまでと違った人生を楽しむ。
- * 大学卒業は、社会人のスタート。新たな学習へのスタートであり、**生涯学習の始まり**。
- * ある目標を達成したら、**新たな高い目標への挑戦が始まる**。PDCAの回転である。
- * 失敗したら、成功への新たなチャレンジの始まり。失敗で終わっては駄目、成功へのバネである。
- * ある旅が終われば、新たな旅を考えて、別の楽しみが始まる。
- * ある恋が終わったら、新しい恋の始まり。
- * 独身生活の終わりは結婚生活の始まり。
自分勝手な考え方から思いやりの考え方への移りである。
- * 離婚は、再婚へのスタートと考えれば、その後の生活に希望が出て来る。
- * 夜が終わったら、新しい朝が来る。
- * **一年が終わったら、希望に満ちた新年が始まる**。
- * 厳しい冬が終われば、暖かい、きれいな花がいっぱいの春が始まる。
- * 苦しみが終われば、楽しいことが始まる。
- * 人生が終われば、つらいことも苦しみもない快適な眠りのスタートである。死を恐れないこと。

全てのことに、**終わりは終了ではなく、新たな始まりである**

終わりはない、常に新たな希望を持って、生きること

終わりはない、常に継続、新しいことへのチャレンジのスタートである